



令和6年3月27日

介護保険課

株式会社プラスロボとの介護人材不足解消に係る連携協定
締結式を行います

市内介護事業所の人手不足解消及び高齢者の健康増進・社会参加の拡大に寄与することを目的として、市と株式会社プラスロボは「川口市と株式会社プラスロボとの連携協力に関する協定」を締結します。

【協定について】 ※別紙あり

1 背景・目的

市内事業所の介護人材が不足する中、その全てを専門職で担うことは困難であるため、専門職でなくても対応できる業務を切り出し、元気高齢者（アクティブシニア）等に有償ボランティアとして従事いただく。これにより、安定的な介護サービスの提供及び高齢者の健康増進や社会参加の拡大につなげる。

2 協定内容

人手を必要とする介護事業所と、有償ボランティアとしてサポートしたい人をマッチングする「スケッター」を活用し、元気高齢者（アクティブシニア）の社会参加や健康維持等に関する効果を検証する。

【締結式について】

1 日時 3月27日（水）14：30～14：50

2 場所 第一本庁舎6階 市長公室

3 協定先 株式会社プラスロボ
（所在地）東京都港区西麻布4-11-2-406

4 出席者 川口市長 奥ノ木 信夫

株式会社プラスロボ 代表取締役CEO 鈴木 亮平 氏

川口市におけるスケッターを活用した実証事業（株式会社プラスロボ社との連携協定）について

背景・目的

- 全国的に介護人材不足及び現役世代の人口減少が進む中、**本市でも今後10年間で約2,500人の介護職員を増やすことが必要。**
(※) 本市の介護人材推計 2023年度：13,146人 → 2035年度：15,705人
- **これを全て介護専門職でカバーすることは現実的に困難**であり、**必ずしも専門職でなくても対応できる業務**（例：施設のベッドメイキングやデイサービスのレクリエーションなど）は、**元気高齢者（アクティブシニア）等に有償ボランティアとして従事**いただくことで、高齢者の健康増進・社会参加の拡大を図るとともに、安定的な介護サービスの提供につなげる。

事業概要

- **株式会社プラスロボ社と、スケッターを活用した高齢者の健康増進・社会参加事業に係る連携協定**を締結
(※) スケッターとは、手伝いを求める介護事業所と、サポートしたい人をつなぐ有償ボランティアのマッチングサービス
- 市は、スケッターの登録者及び利用事業所の拡大に向け、介護保険料の通知書へのチラシ同封や介護事業所団体への働きかけを行う。**プラスロボ社は、市内介護事業所に対して、3か月間（本年7～9月を予定）の無償トライアル利用を提供**する。
- 研究機関と連携し、参加者の医療・介護データの分析、アンケート調査等を行い、事業の効果検証を実施。

スケッター事業イメージ

